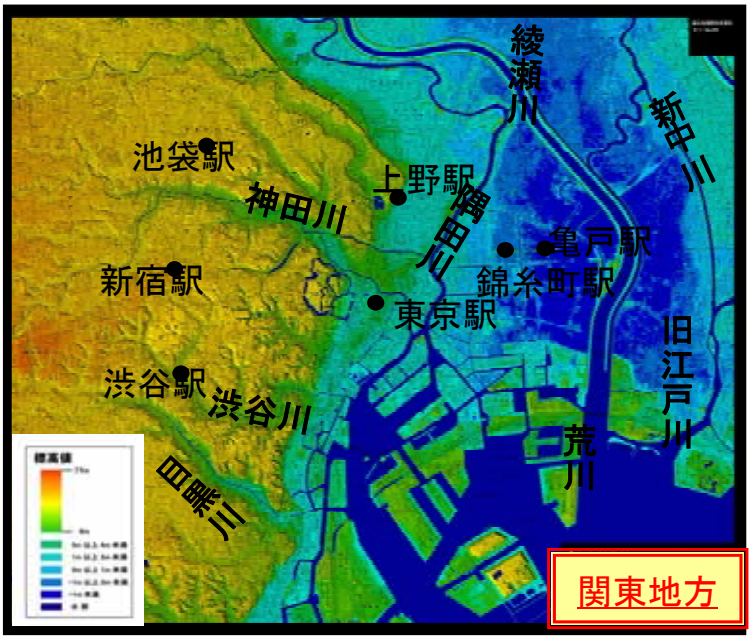
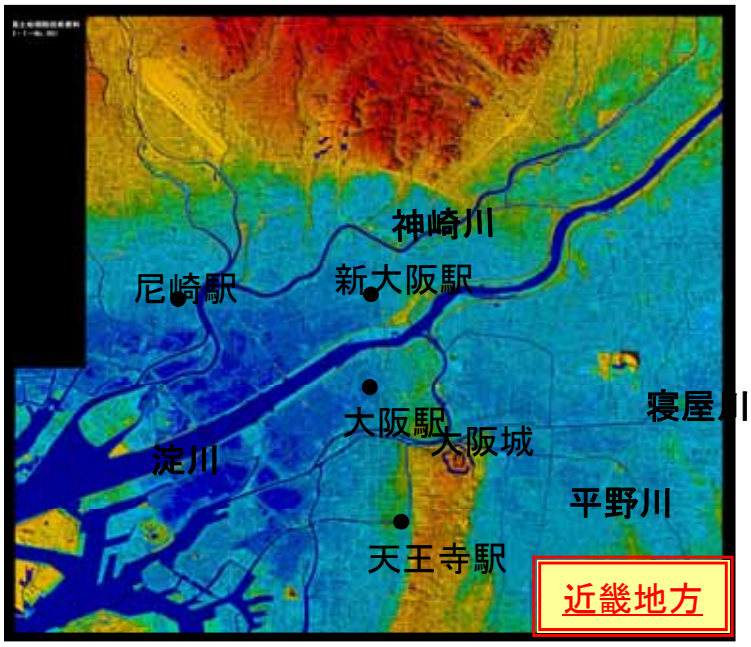
低平地に集積する人口・資産

参考資料





（出典）国土地理院作成資料

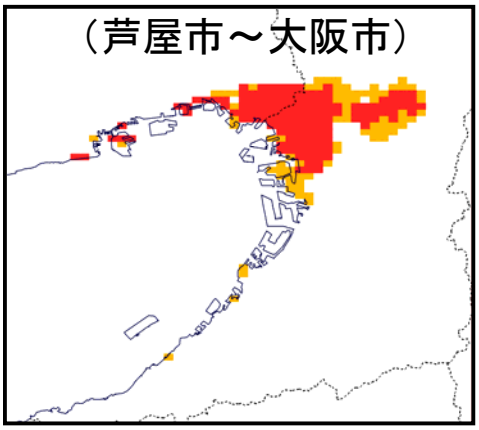
我が国は、洪水時の河川水位より低い

約10%の土地に
約50%の人口と
約75%の資産を抱えている。

三大湾における海面上昇の影響

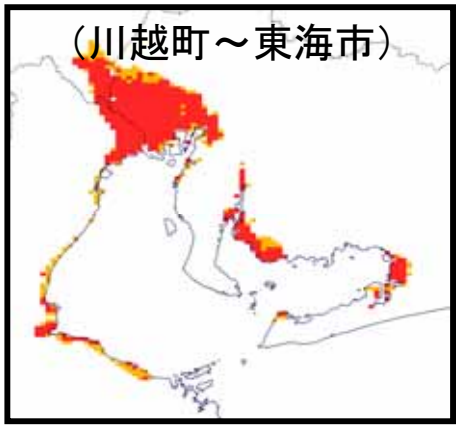
平均海面が59cm上昇した場合、三大湾（東京湾、伊勢湾、大阪湾）のゼロメートル地帯の面積・人口は5割増大すると予測される。
（海面上昇量59cmは、SRESシナリオより予測される世界平均海面水位の上昇量の上限を想定）

大阪湾



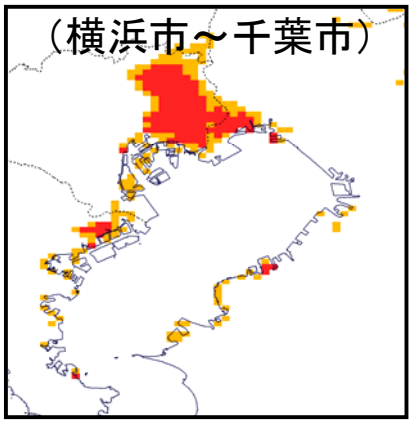
138万人（現状） ⇨ 211万人（海面上昇後）

伊勢湾



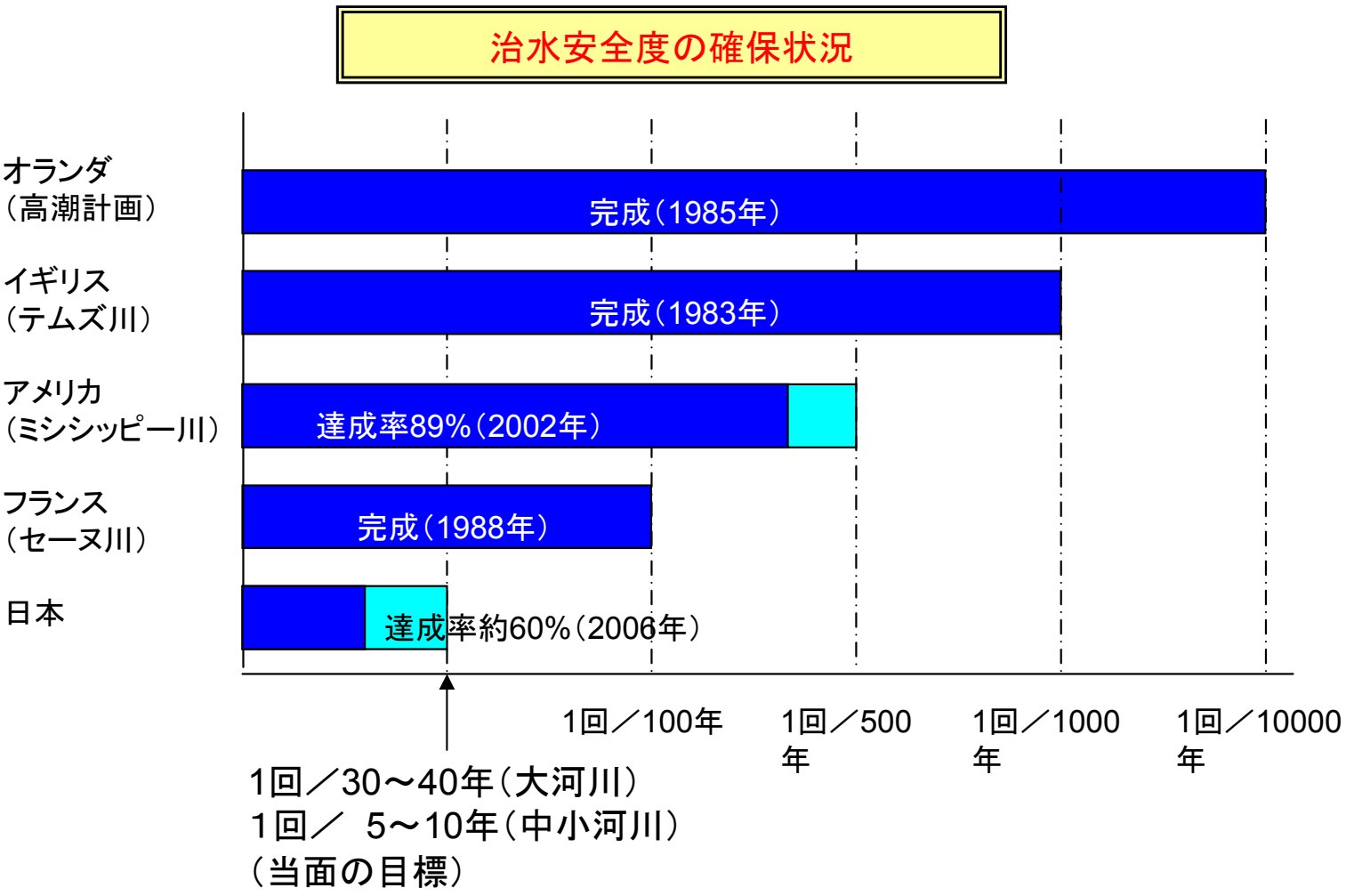
90万人（現状） ⇨ 112万人（海面上昇後）

東京湾



176万人（現状） ⇨ 270万人（海面上昇後）

※国土数値情報をもとに作成
※3次メッシュ（1km×1km）の標高情報が潮位を下回るものを図示。面積、人口の集計は3次メッシュデータにより行っている
※河川・湖沼等の水面の面積については含まない
※海面が1m上昇した場合の面積、人口の60%分を増分として計算

	現状	海面上昇後	倍率
面積（km²）	577	879	1．5
人口（万人）	404	593	1．5

諸外国と比較して低い整備水準